

鶴ヶ峰駅北口周辺地区

つるきた街づくり通信

第2号・別冊

平成 29 年 10 月発行

New まちづくり構想ニュース

発行：横浜市都市整備局、鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会

鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想「検討会(第2回)」(H29.9.23・26 開催)

意見交換(ワークショップ形式)での意見のまとめ

本資料は『鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想ニュース「第2号」』の別冊として、まちづくり構想「検討会(第2回)」での意見交換(ワークショップ形式)でいただきましたご意見をまとめたものです。

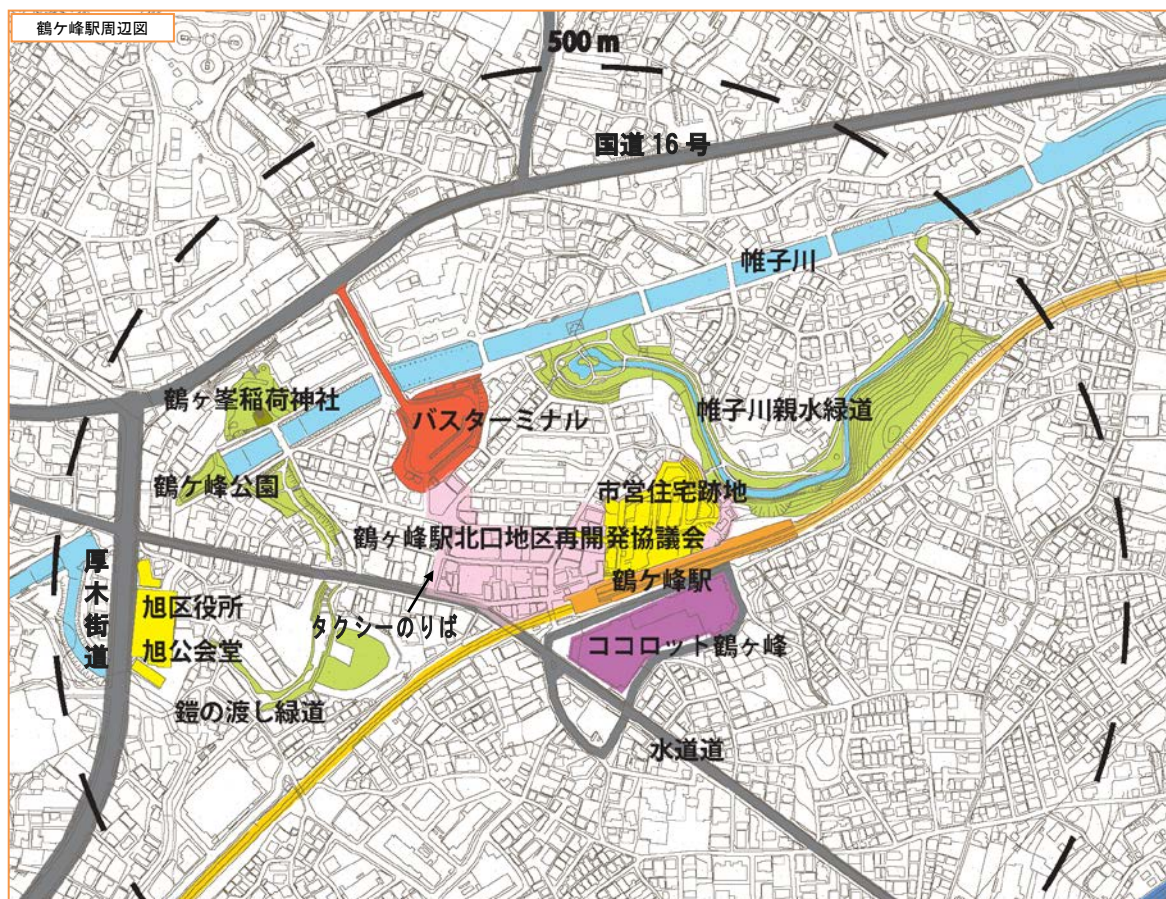
ワークショップでは、6つのテーマ(「道路交通」「自然環境」「商業環境」「住環境」「行政・文化機能」「その他の機能」)を扱いましたので、以下にテーマごとに分類し、まとめています。

ご意見は、現状に関する「① 課題認識と評価」、課題認識と評価に基づいてご提案いただいた「② 今後のまちづくりの方向性」に大きく分けています。

合計“200件”を超える貴重なご意見をご確認ください。

「テーマ1：道路交通関連」でのご意見

道路交通関連のご意見でいただいた「道路の名称」や「施設の名称」、「位置関係」などを下図「鶴ヶ峰駅周辺図」に記入しました。適宜、参照いただきながら、意見の内容をご確認ください。



① 課題認識と評価（テーマ1：道路交通関連）

○ 道路環境への課題認識

- 国道16号へ直接抜けることが出来る道路がありません。
- 渋滞時の高齢者の横断が課題になっています。
- バスターミナルを出たところが朝夕混雑し、人の往来が激しく、接触事故もたまに発生しています。
- 通勤時間帯、駅前に車が入ってきてしまいます。本来は規制されているはずですが。
- 6時から24時までというバスターミナルの利用ルールが守られていません。
このことから、騒音や排気ガスが気になっています。

○ 水道道への課題認識

- 人と車の流れが水道道に集中し過ぎていて危ないです。
- 水道道の歩道は幅員が狭いため、車いすなどの通行が出来ません。
- 水道道の特に駅から厚木街道まで、自転車で車道を走ることは怖いです。
- 水道道の渋滞が課題です。



○ バスターミナルへの課題認識

- バスターミナルが駅に近接していないことが課題です。
- 駅を降りて、バスのりばが遠すぎます。
- 駅前からバスターミナルへの道をよく尋ねられます。
標識や案内板、マンホールの蓋での方向指示があるものの、まだ分かりにくいです。

○ バスターミナルまでの経路に発展した商店街について

- バスターミナルが駅から離れていることは、商店にとって良い点です。
- バスターミナルと駅が近いと良いですが、商店街の問題との両立が課題です。
- バスターミナル、タクシーのりばは駅に近い方が良いですが、商店としては、店の人通りが減るという問題も起きます。

○ タクシーのりばへの課題認識

- タクシーのりばが駅に近接していないことは課題です。
- バスや、タクシー停留所の所在が課題となっています。
- タクシーが停まっていて道路が危ないです。
- 待機するタクシーが生活道路に流入しており課題です。
- タクシーの転回が危険です。



○ 駅前での一般車の乗り降りへの課題認識

- 一般車が駅に寄り付けません。

○ 歩行環境への課題認識

- 車の流れがかなりあり、しばしば安心できる歩行環境にありません。
- 歩道が狭いです。せめて片側4mくらい欲しいです。
- バスターミナルには歩道がありますが危ない印象です。
- 帷子川沿いの歩道で放置自転車対策の柵が支障となり、乳母車などの通行時に迂回が必要なため、道路としての機能が失われています。



○ 踏切への課題認識

- 踏切を開ける時間を長くして欲しい。
- 道路環境は踏切が解消されれば、かなり改善されるのではないかと思います。

○ 線路による地域分断への課題認識

- 町内会が線路で分断されており、交流が偏ってしまっています。

○ 鶴ヶ峰駅への認識について

- 駅の位置が動くと困ります。

○ 駐輪場への課題認識

- 自転車、バイクの民間敷地への不法駐輪が問題です。
- 駐輪場はバイクが危ないです。
- 駐輪場の場所が課題となっています。現在、右側通行が当たり前のように行われています。

○ 自転車交通環境として良いところ

- 自転車で線路部を渡る際、自転車を乗り入れることが出来るエレベーターが何箇所か設置してあり、便利でした。

○ 自転車交通環境への課題認識

- 自転車が狭い歩道と狭い車道を走っており、危険です。

○ 駐車場や違法駐車への課題認識

- スーパーなどの駐車場が課題となっている。
買い物が終わるまで待っている車も課題です。
- タクシーのりばのある道路に違法駐車が多く、安全に道路を使うことが出来ません。
加えて、タクシーのりばもタクシーで溢れており、一般車の通行が不可能な状態が、ほとんど毎日、夕刻頃に見られます。
- タクシー待機の車列とスーパーへの搬入車（大型）等と、タクシーのりばの反対側への自動車駐車により、常時混雑した道路は歩行者へ常に危険が及んでいます。

② 今後のまちづくりの方向性について（テーマ1：道路交通関連）

○ 道路全般について

- ・歩行者の動線と駐輪場利用者の動線を分けた道路として欲しい。
- ・歩行者と自転車の動線を分けた道路として欲しい。
- ・自転車とベビーカーに対して、高齢者の通行もあるので、どちらへの配慮も必要です。
- ・高齢者が多いので、そのことに配慮した道路の整備を行って欲しい。
- ・鉄道の立体交差と道路整備を一緒に考えて欲しい。
- ・連続立体交差で水道道以外の道路の利便性が向上するならば、人と車の流れを分散させる施策があると良いです。
- ・街づくりの将来を考えれば、道路の整備も重要です。（車歩道の確保。）

○ 幹線道路網の改善について

- ・国道 16 号線や厚木街道へのアクセスが課題となっています。
- ・国道 16 号から駅に入ることが出来る車道が欲しい。
- ・水道道以外のメイン道路が必要です。

○ 水道道の改善について

- ・右折レーン、信号の設置が必要です。
- ・高齢者に優しい歩道の整備を行うべきです。
- ・厚木街道への接続部は幅員がなく、自転車が通りづらい。幅員をもう少し取れたら良い。

○ 車道環境の改善について

- ・タクシーのりばから出て行く交差点が不便なので、信号などがあったら良い。

○ 現在のバスターミナルの改善策

- ・駅前から濡れずにバス乗車出来るように検討して欲しい。
- ・バスターミナルへの経路を分かりやすくするため、道路の舗装で工夫する。（色づけなど。）
- ・駅からバスターミナルまでのラインを引くと良い。

○ 駅前広場の整備

- ・バスターミナルを駅近へ整備する。タクシーのりばも駅近に整備する。
- ・市営住宅跡地を活用して、バスターミナルの移設、駐輪場の増設、一般車乗降場の新設を実現する。
- ・バスターミナル、タクシーのりばを駅前に、新しく整備する。
- ・現在のバスターミナルを駅の近くに移転する。

○ タクシーのりばの整備

- ・タクシーのりばは、バスの終発までバスのりばを使うと良い。
- ・タクシー待機場所を確保するべきです。（近くのコインパーキングを活用する等。）
- ・タクシー呼び鈴等により、待機タクシーと乗客のバランスをコントロールすると良い。

○ 一般車のりばの整備

- 駅への送迎車ののりばを駅近へ整備すると良い。
- 現在のバスターミナルの一部を一般車ののりばとして使うことができると良い。

○ 歩行環境の改善について

- 歩道は高齢者が多いのに狭いため、歩道整備を行って欲しい。
- 歩行者道路と自転車道路の完全分離をして欲しい。（高齢者防護のため。）
- 歩行者の立場から自転車の問題（スピードが速く危険。）を指摘します。
マナーや通行区分に課題があり、乗り入れ制限などを考えた方が良いでしょう。
- 歩道に置かれている「のぼり旗」を禁止して欲しいです。
- 歩行喫煙禁止区域にした方が良いでしょう。（歩道が狭く歩きタバコが危険。ポイ捨ても多いため。）
- 白根交差点からの人通りが多いです。駅方面から国道16号へアプローチできる別のルートが出来ると良いでしょう。
- バスターミナルと駅を行き来する歩行者が多く、中々、車両での通過が困難になっている（特に朝から日中。）ので、歩車分離を望みます。

○ 交通施策の実施について

- 高齢者が鶴ヶ峰へ気軽にいられるような交通手段の構築を行って欲しいです。

○ 線路南北の往来について

- 線路の南北に行き来できるルートが必要です。
- 南口と北口の連絡通路が必要です。

○ 鉄道立体化後の線路跡地活用について

- 連続立体交差事業で鉄道が地下化された後の線路跡地を利用して、バスターミナルを駅近に移動（タクシー、一般車のりばも同様に。）すると良いでしょう。
- 鉄道立体交差化後の地上部を利用し、タクシー、一般車等の乗り入れ場所とすると良いでしょう。
- 線路の跡地に交通広場を整備し、駅前ロータリーにすると良いでしょう。
- 鉄道が地下化となれば、鉄道跡地を利用してターミナルとして使用すると良いでしょう。
そして、道路整備も同時に行うと良いでしょう。
- 相鉄線の跡地を利用するべきであると思います。
- 相鉄を地下化した場合、地上部分はどのように利用するのが気になります。
例えば、遊歩道等となるのでしょうか。

○ 鶴ヶ峰駅の再整備

- 地下に出来た鶴ヶ峰駅の電車のホームなどにシェルターを造って欲しい。
Jアラート時に地上の状況が分かるような設備を設置して欲しい。

○ 駐輪場の整備

- 駐輪場を実際に利用している方に整備に関する意見等を聞いてみた方が良いでしょう。
（例えば、立体化など。）
- 鶴ヶ峰一丁目の特別緑地保全地区に大規模立体駐輪場（複数階）を建設すると良いでしょう。

○ 住環境への配慮

- 道路整備、交通広場の整備は必要だが、駅周辺の住宅地は道路が狭いことから、静かな環境が保たれることも重要です。メリハリを大切に考えるべきです。
- 道路整備による住環境の悪化が心配です。
ただし、水道道と厚木街道との交差点の整備は必要と考えています。
- 水道道が混雑しており、生活道路が国道 16 号への抜け道となっているため、一方通行化など、車が入らない環境づくりを望みます。

「テーマ2：自然環境関連」でのご意見

自然環境関連のご意見でいただいている「公園の名称」や「緑地の名称」などを下図「鶴ヶ峰駅周辺図」に記入しました。適宜、参照いただきながら、意見の内容をご確認ください。



① 課題認識と評価（テーマ1：自然環境関連）

○ 自然環境への印象

- ・公園が多いという感覚はありません。
- ・人口比率に対して広場（空地）が少なすぎます。

○ 水と緑のネットワークへの課題認識

- ・親水緑道と他の公園との距離があります。
- ・帷子川沿いの道路に車止めがありますが、それでもバイクがどんどん通行しており、ゆっくりと歩くことが出来ません。

○ 帷子川親水緑道への評価

- ・暗くて怖いという意見があるようですが、それ程、暗くないと思います。ホタルの生息に向けた活動もあるので、現状で良いかと思います。

○ 帷子川親水緑道への課題認識

- ・昼間でも人通りが少なく、女性や子供などの利用には危険性が感じられます。
- ・親水緑道は川の中にゴミや枯れ枝等が多いです。
- ・市営住宅跡地と親水緑道をもっと活用しないともったいないです。
- ・親水緑道の歩道に桜の根が張り、ひび割れしていて、凹凸になり、歩行に危険です。



○ 帷子川親水緑道から駅前への動線への課題認識

- ・緑道から駅への抜け道も細く、急坂で足元が悪いと思います。

○ 公園の課題について

- ・公園のトイレに水が出ない所もあります。手を洗いたい時に不便です。

○ 維持管理における課題について

- ・行政は公園をつくるが、その後の管理は地元まかせになっています。
- ・公園を作っても維持管理に力をいれないと汚れます。
維持管理を地域住民にさせると、無理が生じます。
- ・緑地とはいっても手入れが悪く、親しみにくいです。
- ・ごみの不法投棄やタバコの吸い殻のポイ捨て、犬のふんなど、維持管理が不十分な側面が多いです。

② 今後のまちづくりの方向性について（テーマ2：自然環境関連）

○ 水と緑のネットワークについて

- ・緑道がつながった状態となれば利用しやすくなります。
- ・駅前から親水緑道へ続く広い道路（歩行者用）が必要です。
- ・鶴ヶ峰公園と親水緑道の間をつなぐ、平坦な歩道を帷子川の上に整備する。

○ 帷子川親水緑道の改善策

- ・親水緑道が水と遊べるようになると良いです。
- ・親水緑道の水が汚いです。
子供たちを安心して遊ばせることが出来るように改善して欲しい。
- ・親水緑道のホタル生息に向けた行政の取り組みをさらに行って欲しい。
- ・親水緑道の水量をもっと増やして欲しい。川の流れと水が少なく、落ち葉が溜まり、汚いです。これではホタルが中々育たないです。
- ・太陽光発電による街灯をもっと増設して欲しい。
- ・アスファルト舗装ではなく、鎧の渡し緑道のようにタイル舗装にすると良いです。
- ・白根方面へ向かう道が一本しかないため、歩行者が少ない等の意見が出ていると思います。
分岐道をつくると良いと思います。



○ 公園等の整備

- ・若年層の取り込み、まちの若返りを図るためには、遊具の充実やスポーツ施設の誘致も必要だと思います。
- ・公園位置の見直しが必要です。
- ・(緑地や公園を) 災害時の一時避難場所と兼用するような有効活用と、整備を行うと良い。

○ 広場の整備

- ・遊歩道や緑道のイメージはあるものの、子供が遊んだりする広場がありません。どこかに確保できると良いです。

○ 鉄道立体化後の線路跡地活用

- ・(鉄道の地下化を前提として) 線路跡地を利用して、親水緑道と一体性のある公園(又は遊歩道)を整備して欲しいです。

○ 緑化について

- ・帷子川の歩道には、樹木だけでなく花も植えて欲しい。
- ・駅前の花屋の場所に緑が欲しい。

○ 鶴ヶ峰一丁目特別緑地保全地区への対応

- ・鎧の渡し緑道付近の自転車駐車場周りの林を大事に守りつつ、活用すると良い。

○ 地形高低差について

- ・地形高低差は問題ですが、対応は難しいと思います。

○ 環境に関する景観について

- ・自然環境の維持と街の開発との兼ね合いをどうするか考える必要があります。調和をとれる街並みになると良いです。

○ 維持管理について

- ・公園等はあった方が良いが、その管理を考えておく必要があります。
- ・メンテナンスをアトラクションとして実施する。(例えば、たけのこ狩りを企画する等。)
- ・鶴ヶ峰公園の「あゆみ保育園」脇の照明が切れているので、メンテナンスをして欲しい。照明が暗すぎます。

○ 自然環境に関する検討の優先順位

- ・緑地や公園を大切に過ぎて、計画立案に支障をきたしていると思います。公園等は後でも検討できると思います。
- ・駅周辺は生活利便性が大事と考えており、自然環境は優先順位が低いと思っています。



鶴ヶ峰公園



帷子川

○ 緑地からの用途転換

- 親水緑道が有効に利用されていないので、道路に転換してはどうかと思います。
- 親水緑道は整備コストに比して利用者が少ないため、親水緑道を周回道路に転換すると良い。
- 親水緑道は利用者が少ないので他の用途（道路）に使う方が良い。
- 鶴ヶ峰一丁目特別緑地保全地区に 4～5 階建の駐輪場を建設してはどうかと思います。

「テーマ3：商業環境関連」でのご意見

商業環境関連のご意見の内容をご確認ください。

① 課題認識と評価（テーマ3：商業環境関連）

○ 商業環境への印象

- 空き店舗が少ないことは良いと思います。
- 商業地域における出店で物珍しさがありません。
- 建物の老朽化が進んでいます。
- 商業スペースとしてはある意味限界ではないかと思います。

○ 現在の商店街の位置関係について

- 駅⇒商店街⇒バスターミナルの流れで商店街が維持できます。
バスターミナルを駅の直近にしてしまえば、商店街へ人が流れなくなり、さびれていくと思います。

【参考：テーマ1（道路交通関連）から引用】

先に掲載した下記内容も、同じような趣旨からいただいたご意見と考えられます。

- バスターミナルが駅から離れていることは、商店にとって良い点です。
- バスターミナルと駅が近いと良いですが、商店街の問題との両立が課題です。
- バスターミナル、タクシーのりばは駅に近い方が良いですが、商店としては、店の人通りが減るという問題も起きます。



駅とバスターミナルの間に発展する商店街

○ 駐車場問題

- 北口には買い物客用の駐車場が駅の近くにないため、集客が出来ないと思います。

○ 南口ココロットの商業について

- 大変きれいなビルですが、面積が狭く、大型店と小型店のバランスが良くないです。

○ 二俣川の魅力

- 日常は近くの商店を使いますが、ちょっと美味しいものを望む時は、二俣川を利用しており、おしゃれな街は二俣川と考えています。

② 今後のまちづくりの方向性について（テーマ3：商業環境関連）

○ 今後の商業施設整備について

- ・今後、核となる商環境の競争になると思います。開発面積により、最大限良さが出るように検討して欲しい。
- ・駅の真上、または駅直結の商業施設を希望します。
- ・北口にも南口と同様な商業施設をつくるのは、周辺の人口等から無理があるのではないかと思います。

○ 商店構成のあり方について

（1）商店街型の店舗

- ・商店街の良さを大切に商業スペースを整備する。成功例などがあれば参考とすべきです。
- ・下町風の路面型商店街を希望します。



（2）集約型の店舗

- ・今の時代、商業施設はビル方式で集まっていくものと考えます。
- ・駅ビル棟に商店、スーパーが集まると良い。
- ・仮に駅ビルを建てるとして、銀行や公的機関、商業施設を集約し、集客性を高めると良い。ただし、駐車場や駐輪場の整備は不可欠です。



○ 誘致したい新たな商店について

- ・コーヒーと輸入食品の販売店や、洋服の直営店など、若い人が「鶴ヶ峰に行きたい」と思う店舗を誘致すると良いです。
- ・食料品店は多いですが、電気店など専門的なお店は少ないです。

○ 商店街のさらなる発展策について

- ・北口は住宅を中心に横浜橋商店街のような密着型路面商店街となるような工夫が必要です。

○ 拠点としての賑わいづくり

- ・ココロット前のスペースでイベントを行うと良い。（フリーマーケットや青空市場など。）

○ 商業のターゲットについて

- ・どの層のお客様を狙うのかをはっきりと出来ることが大切です。（ママ・高齢者・学生など。）

○ 高齢者の視点について

- ・高齢者が多くなるので買物に便利な「エレベーター」「エスカレーター」「広場」が必要です。
- ・企業努力は必要だが、店主の高齢化対策や支援も必要です。制度融資などが出来ると良い。

「テーマ4：住環境関連」でのご意見

住環境関連のご意見をご確認ください。

① 課題認識と評価（テーマ4：住環境関連）

○ 道路関連の課題について

- ・自宅前の道路が国道16号からの抜け道として使われており、かなりの数の車と、スピードを出す車が走り、危険です。
朝は、保育園に子どもを預けに来る人も多く、特に危ないです。朝の時間帯だけでも通行止めにするとうまいと思います。

○ 日照の課題について

- ・冬は、ココロットの建物があるため、午前午後1時間くらいずつ日が当たりません。

○ 空家問題について

- ・一戸建ての空家が近くに2軒あります。

② 今後のまちづくりの方向性について（テーマ4：住環境関連）

○ 新たな住宅整備について

- ・容積率の緩和による高層化が良いです。
- ・駅の真上、または駅直結のマンションを希望します。

○ 住環境整備への意見

- ・北口にも南口と同様な住宅をつくるのは、周辺の人口等から無理があると思います。

○ 現在の住環境の維持

- ・閑静な住宅地なので、このままが良いと考えている人も多いのではないかと思います。
- ・駅に近く、現状で十分だと思います。
- ・約40年間居住しておりますが、高層ビルは望みません。
- ・日照、騒音、渋滞等で現在の住環境が相当悪化する可能性を心配しています。

○ 現在の住環境の活用

- ・基本的には住居地域だと思います。その点から、住環境を中心とした街づくりが必要ではないかと思います。
- ・日本全体で人口は低下傾向にあります。これからは多くの人を呼ぶのではなく、逆に閑静な住宅街を売りにしたまちづくりを行っていくと良い。



「テーマ5：行政・文化機能関連」でのご意見

行政・文化機能関連のご意見をご確認ください。

① 課題認識と評価（テーマ5：行政・文化機能関連）

○ 区役所への課題認識

- ・ 駅に近接している方が便利です。
希望ヶ丘方面の方は不便を感じていると思います。
- ・ 区役所の場所を聞かれることが多いので、もう少し分かりやすくした方が良いです。

○ 区役所の駐車場への課題認識

- ・ 区役所をよく利用する方で車でしか行けない人はいつも駐車場待ちなので、他の区に引っ越そうと思う人がいるかもしれません。
- ・ スーパーの駐車場に車を停めて、区役所に行く人がかなりの人数います。

○ 公会堂への課題認識

- ・ 公会堂が古いです。

○ 図書館への課題認識

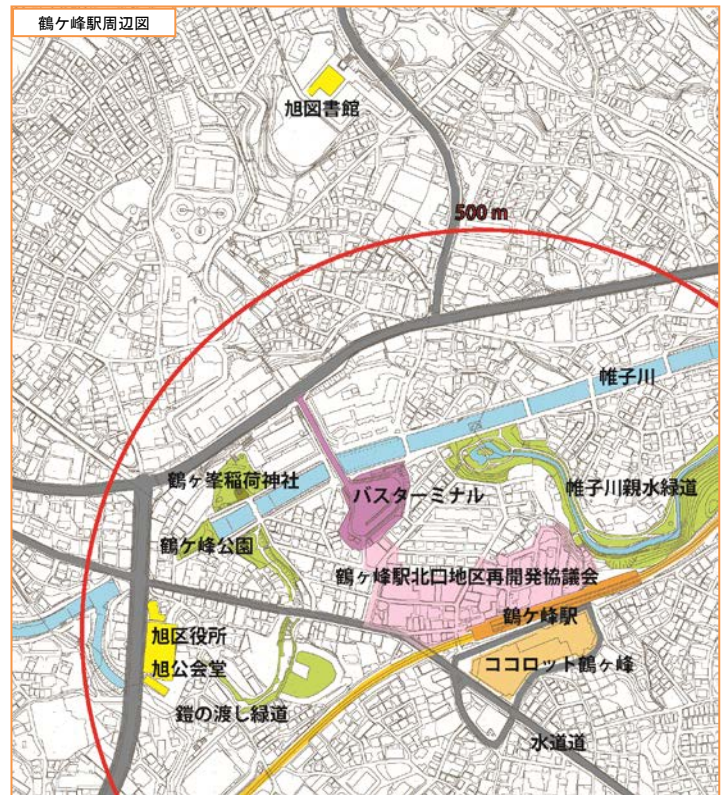
- ・ 旭図書館は立地が不便です。保土ヶ谷図書館を利用している方がむしろ多いです。

○ 図書館への印象

- ・ 図書館は健康管理を考えると、程よい距離感です。

○ 行政・文化機能等への印象

- ・ 私は現状で満足しています。区役所も駅に近く、駅前周辺に多数の病院もあり安心です。



② 今後のまちづくりの方向性について（テーマ5：行政・文化機能関連）

○ 行政・文化機能の再整備について

- ・ 現バスターミナルに区役所、公会堂、図書館を移転すると良い。
- ・ 区役所、公会堂（できれば図書館も）を現バスターミナルへ建替えると良い。今より便利にして欲しいです。
- ・ 区庁舎の建替えをする際に、図書館を設置すると良い。

○ 文化施設の整備について

- 文化施設といえるような施設（コンサート・劇場などの講演が可能な施設）が欲しいです。横浜市として、各区に一施設設置することを考えることを提案します。
- イベント会場が駅周辺に（少々古く、狭い）旭公会堂しかありません。しっかりとしたイベント会場があったら良いと思います。区役所の建替えに際し、その様な施設をつくと良いです。
- （区役所が駅前に移転したのちに）アリーナ、図書館、プールをセットにしたような施設を区役所の跡地に整備できると良い。

○ 区役所の再整備

- 区役所機能は駅前にあった方が良い。
- バスターミナルの跡地に区役所を移転する。
- 区役所庁舎が旭区の中心にありません。鶴ヶ峰であれば駅前にあるべきです。
- 区役所は現位置での建替え又は再開発区域内への移転等を考えれば良いと思います。



○ 現区役所の改善策

- 周辺の駐車場を区役所の駐車場として連携すると良いです。
- 区庁舎まで行き着けるように道へラインを書くと良い。

○ 図書館の再整備

- 図書館は駅やバスターミナルに近い方が良いです。
- 図書館が旭区の中心にありません。鶴ヶ峰であれば駅前にあるべきです。
- 図書館を新しく立てるビルの中に設置します。これにより、人が集まり、商店が集客できます。
- 旭図書館に有名なコーヒーショップなどの店舗を誘致し、行きたくなる場所にすると良い。



○ 現旭図書館の改善策

- 図書館行きのバス本数を増やす。

「テーマ6：その他の機能関連」でのご意見

その他の機能関連のご意見をご確認ください。

① 課題認識と評価（テーマ6：その他の機能関連）

○ ズーラシア関連

- ・ズーラシアの入口としての拠点が未整備です。

○ 医療関連

- ・調剤薬局が多すぎる印象です。

○ 子育て関連

- ・子供たちが遊ぶ空地がありません。
- ・保育施設の充実はまちとしての大きなアピールポイントとなります。

○ 二俣川との棲み分け

- ・二俣川の再開発が完了した後の見極めが重要です。

② 今後のまちづくりの方向性について（テーマ6：その他の機能関連）

○ まちの発展について

- ・国道16号より北側の人口が増えないと、鶴ヶ峰駅北口の経済が衰退していきます。

○ 用途地域について

- ・再開発の区域は用途地域をきちんと変更して欲しい。

○ ズーラシアについて

- ・駅名の変更（例：鶴ヶ峰横浜ズーラシアなど）を行うと良い。
- ・ズーラシアの入口のまちを意識したレイアウトに転換すると良い。

○ 多世代（子どもと高齢者など）の交流

- ・将棋や囲碁など、高齢者と遊べる場を増やすと良い。
- ・（多世代が）コミュニケーションを取りやすい場を増やすと良い。

○ 子育ての視点でのまちづくり

- ・子育て世帯が移り住んでくれるためには、地域として、例えば、保育所の更なる充実を図るなどのメリットを持っている必要があります。
- ・駅に中高層マンションを整備する場合、保育所や託児所も併設して欲しい。
- ・駅の近くに公園等、保育が必要な子供が集まる場所がありません。
- ・子供の遊び場として、帷子川を利用し、栈橋をつくる等を実施すると良い。

○ 高齢者の視点でのまちづくり

- ・高齢化の中で、高齢者がお金を使っても良いと感じるようなまちづくりを行って欲しい。

○ 駐車場関連

- ・駐車場の必要性は特にありません。
- ・再開発にあたっては駐車場の整備が必要です。
- ・限られた土地しかないので、タワー式で計画した方が良いと思います。

○ その他

- ・北口はトイレがありません。
- ・戸塚駅における開発が終了し、初めて自転車で通った時、全くどこを歩いて良いのかが分からず、案内が不十分で困りました。
- ・地域で分煙すると良いです。

その他のご意見

最後に、その他のご意見をご確認ください。

- ・工事の計画を1期、2期、3期などの区別を考慮した計画として欲しいです。
- ・工事期間が長すぎるため、何期かに分けて実行すると良いです。

【発行元】

■横浜市都市整備局

担当課：市街地整備推進課（担当：島田、木村）

電話：045-671-3799 FAX：045-664-7694 E-mail：tb-seibisuishin@city.yokohama.jp

■鶴ヶ峰駅北口地区再開発協議会

理事長：安藤公一